

年間の取り組み

2025年4月
～
2026年3月

企画・運営

過去の実施内容をもとに、通年の設計やスケジュールの作成を行いました。年間で12回の事務局会議を実施しました。

2025年
5月～6月

募集

過去のプロジェクトオーナーを対象に、継続プロジェクトオーナーの募集を行いました。応募者に対しては個別ヒアリングを実施したうえで、審査用のプロジェクトシートを提出していただきました。7名の応募がありました。

2025年
6月24日

審査

審査員による審査会を実施。プロジェクトシートを用いた書面での審査としました。内容確認が必要なものについては後日内容確認を行い、そのうえでプロジェクトオーナーを採択しました。7名の応募があり、うち1名については体調不良により途中で辞退となったため、プロジェクトオーナーとして6名を採択しました。

2025年7月
～
2026年1月

伴走支援

プロジェクトオーナーと個別の打合せや現地同行を行いました。また、チャットツール等で随時相談対応を行いました。

記事作成による情報発信

プロジェクトオーナー3期生4名のインタビュー記事を作成し、ブログサービス「note」を利用して記事の公開を行いました。

2025年
7月19日
10月25日
12月6日

講座

- キックオフミーティング第一回講座『山都ラボプロジェクトの今後』
大野笑学校（旧大野小学校）にて、プロジェクトオーナー向けに開催しました。参加者5名。
- 第二回講座『プロジェクトオーナーフィールドスタディ』
プロジェクトオーナーの山下くるみ氏を講師に、森林浴リトリートツアーの体験会を開催しました。参加者10名。
- 第三回講座『高知発！「いなかパイプ」に学ぶ、いなかでのプロジェクト立ち上げと”しごと化”』
（一社）いなかパイプ代表のササクラレオ氏を講師に、山都町役場にて開催しました。参加者10名。

2026年
1月25日

報告会

同日開催のSDGsカレーフェスタと合わせて、山都町総合体育館パスレル多目的室にて開催しました。プロジェクトオーナー6名からの活動報告が行われました。

情報発信

 **山都町公式YouTube**
「【公式】山の都創造チャンネル」

これまでに実施した発表会の様子を配信。プロジェクトオーナーの発表を視聴可能です。



note **山都町公式note**
「山の都note」

プロジェクトオーナーのインタビュー記事などを発信中。山都ラボをディープに知ることができます。



運営紹介



とかいのこえ いなかのおと
mimimasu, Inc.

合同会社ミミスマス

宮崎県椎葉村を中心に、中山間地域に特化した「プロジェクトベースの人材育成」「地域おこし協力隊支援」「山茶の製造販売」などの取り組みを行っています。



令和7年度版



山都町を誰よりも楽しみたい大人のための実践と探究の場



山都ラボとは？

山都ラボは、

- ・チャレンジ人材の発掘と育成を目的に、
- ・自らプロジェクトに取り組むプロジェクトオーナーを募集し、
- ・各プロジェクトを全力でサポート

する取り組みです。

令和4年度からスタートし、令和7年度までに累計22名が山都町でそれぞれのプロジェクトに取り組んできました。

主催：山都町役場 山の都創造課 山の都づくり推進室

令和7年度のプロジェクトオーナー



飯星秀美

2期生

香育 香りから森のめぐみを感じよう

【プロジェクトの目的】

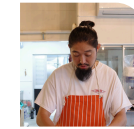
香りによって人々の健康を促進したい。これまで嗅覚反応分析の体験会を実施してきた。今年度は、子どもを対象にした香りの勉強会を実施したい。

【成果】

2025年11月1日(土)山都町SDGsフェスタにて出店し、香育ワークショップを実施した。参加者20名。嗅覚反応分析も、文化の森のマルシェ等で継続して実施している。

【今後の展望】

地道に続けていきたい。学校関係者等と連携して、活動を広げていきたい。



渡邊太郎

2期生

肉と塩だけで作る、シンプルなジビエジャーキーの開発

【プロジェクトの目的】

食の大切さを多くの人に伝えたい。R6年度は、自身が通っていた旧中島西部小学校の給食室を借りて加工所として整備した。R7年度は、自身が販売するジビエバーガー以外に持ち帰れる土産品を新たに開発したい。

【成果】

試作を重ねてジビエジャーキーを開発。2025年12月にジビエジャーキーの製造販売許可を取得し、2026年1月25日(日)の山都ラゴ報告会では試食販売を実施した。また、2026年2月から加工所を飲食店として営業開始した。

【今後の展望】

パッケージデザインや金額の設定などを進め、販売を開始したい。



プロジェクト名



肉と塩だけで作る、シンプルなジビエジャーキーの開発



山下くるみ

2期生

大自然をそのままに～ 子ども達が感じる”五感”を未来へ

【プロジェクトの目的】

山都町を愛し、大自然をそのままに大切に守っていく意識を育むため、森林浴の取り組みを実施してきた。3カ年目の今年度は、子どもたちを対象として五感で自然を感じる体験をしてほしい。

【成果】

2025年11月15日(土)に森林浴リトリートツアーを実施した。年長から小学生まで、子どもの参加者15名。また、2025年10月25日(土)に山都ラゴ講座として森林浴プログラムを実施した。プロジェクトオーナー含め、参加者10名。

【今後の展望】

今後も森林浴を通して山都町の素晴らしさを未来へつないでいきたい。



浦部泰晶

3期生

山都町観光コンテンツ漫画化計画「ヤマト探冒記」ver2.0

【プロジェクトの目的】

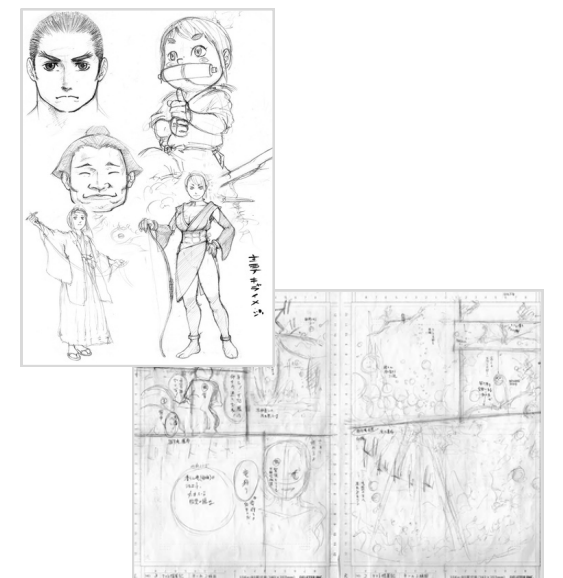
山都町の観光コンテンツを用いた漫画を制作し、発信することで、山都町の認知度向上や観光に貢献したい。これを機に、一度は諦めた漫画制作に再びチャレンジしたい。R6年度は漫画の全体像をまとめ、ネームの初稿を作成した。

【成果】

作業を進め、ネーム2校目が完了。ページ数は74pから121pに増量。InstagramおよびXで漫画制作の様子を投稿した。

【今後の展望】

引き続き、漫画制作を進めたい。1話目から順次完成させて公開していきたい。



山本隆史

2期生

マウンテンバイクで地域再生、自転車文化の定着

【プロジェクトの目的】

マウンテンバイクを多くの方に楽しんでほしい。これまで、山都町にほぼ毎週通って荒れ果てた山を整備し、マウンテンバイクコースを3コース整備してきた。今年度は、子どもに自転車の楽しさを伝え、自転車への興味を持ってもらいたい。

【成果】

2025年11月16日(日)、山都町総合体育館パスレルにて「はじめての親子自転車教室」を開催した。参加者20名。また、10月25-26日にレースイベント「山の都エンデューロ」を開催した。昨年度に続き二回目。活動の様子は、FacebookおよびInstagramにて随時発信している。(nakashima MTB park で検索)

【今後の展望】

収益性を改善し、事業の持続性を高めたい。



本田可奈子

3期生

「お母さんが笑顔だとみんなうれしい」ほっとひといきドゥーラ子育てカフェ

【プロジェクトの目的】

母親が孤立することなく、気軽に誰かを頼れるような仕組みづくりに貢献したい。R6年度はランチ会を開催し、子育て仲間が出逢う機会をつくった。

【成果】

2025年11月8日(土)にドゥーラ子育てカフェを開催した。栗のスイーツづくり体験、マッサージなどの内容を盛り込んだ。親子参加7組、スタッフ等含めて合計25名が参加。

【今後の展望】

味噌作りの会やランチ会などの形で、引き続きお母さんたちが主体的に参加できる会を実施したい。町の事業とも連携していけるとうれしい。

